

## 新宿の家

新宿の古い住宅地で、南側に3階が建ち日当たりが悪くなったこと、東隣りの家が火事になり少し延焼したことから建替えをしたいという話でした。燃えにくい点から構造はRC造りにし、設計が開始されました。2階にリビング・キッチン・和室・書斎そして階段。階段はキッチンで仕事をしても1階の人の出入りがわかるように「行って来い形式」を考えました。この形式は1階の昇り始めの上部が吹き抜けになりますから、2階から下が見え声も聞こえるメリットがあります。



キッチンはリビングと同一空間に設定し、キッチン内が丸見えにならないように棚で仕切りました。いわゆる独立タイプですが、このタイプの欠点である隔離感をカバーするために食卓位置の棚の一部をオープンにし、キッチンとのつながりを強めました。南側の窓は連窓とし、障子を立て込んで左右に引き分けられように戸袋を設けてあります。

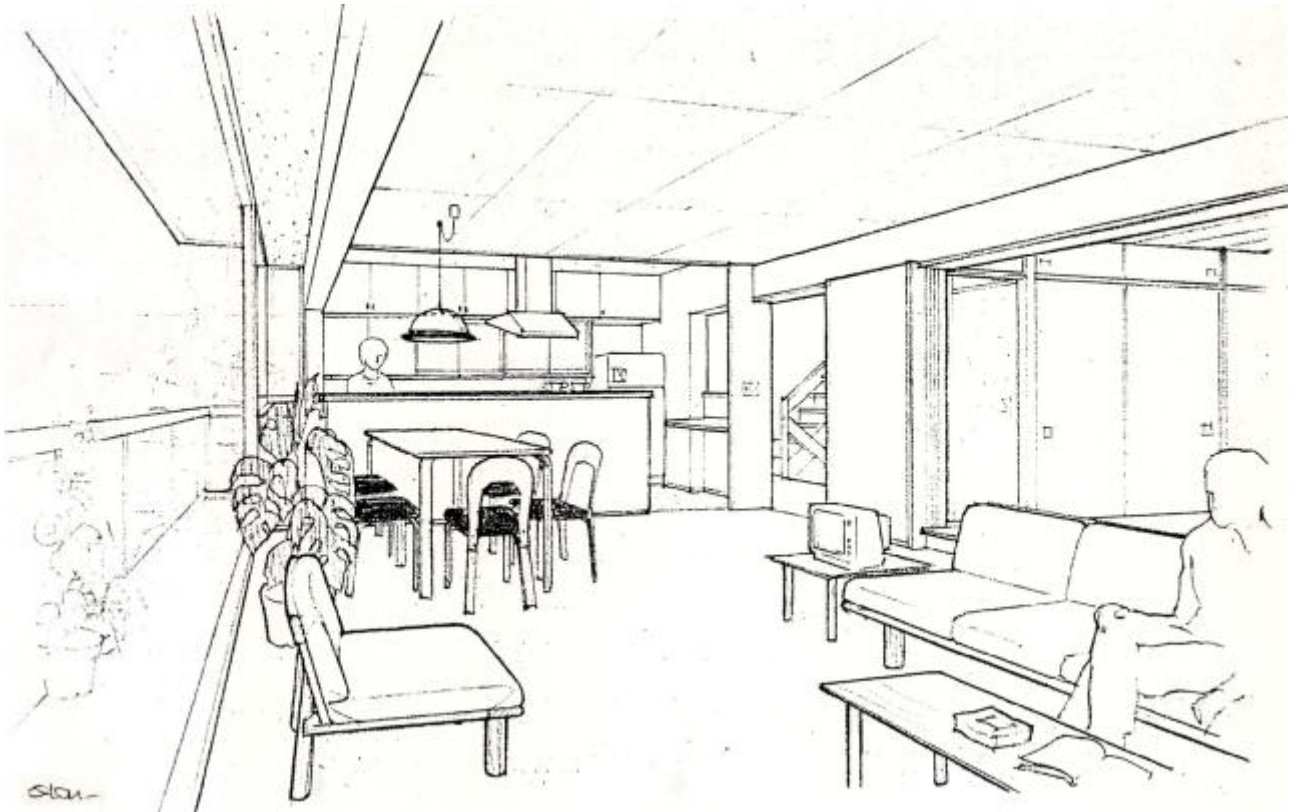


1階は寝室3室で、当時小学生だった女の子2人の部屋は1室にし、ベッドをL型に配置しました。南の庭先に丸太の布団干場を設けてあります。

照明器具は施主が電気会社にお勤めだったこともあり、制作して頂きました。リビングの全体照明は、蛍光灯とボール電球を鏡仕上げの基盤に埋め込んだ形にし、窓際の障子に当時出回っていたシャンデリア電球をスポットライトとして天井に取り付けました。そして食卓上にアーム型ペンダントをつくり、奥様手製の布カバーを被せました。

暖冷房は2階のリビングは床暖房、個室は温水ラジエーター、冷房は各室にセパレートタイプです。

仕上げ材は外壁はコンクリート打ち放しにAP塗装、屋根はカラー鉄板平葺きとし、室内は主にプラスター仕上げ、天井はラワンロータリーベニヤです。リビングや寝室の床はジュウタン敷にしています。



パースは奥村作（完成した室内と少し違いがあります）



※写真と図面は住宅建築No.92住宅平面構成資料より